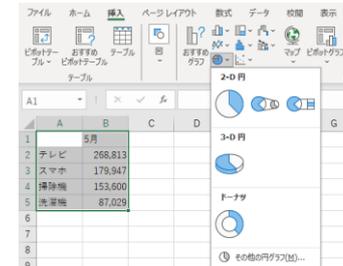
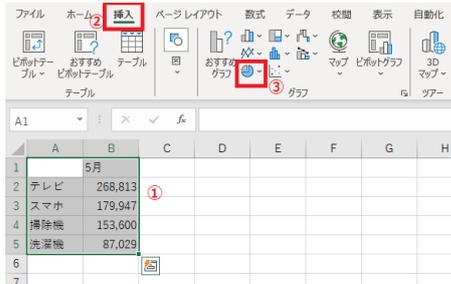


# 円グラフの作成方法

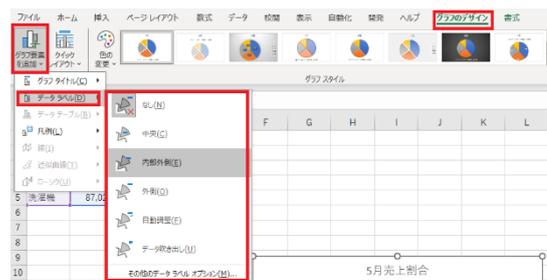
円グラフの挿入。円グラフの挿入手順は以下のとおりです。

1. 円グラフにしたいデータを範囲選択する
2. [挿入]タブ → 「グラフ」グループの「円グラフ」をクリック
3. 「円またはドーナツグラフの挿入」をクリックし、表示された一覧からグラフの種類を選択する



わかりやすい円グラフにするために、データラベルを表示します。円グラフに値を表示する方法は以下のとおりです。

1. 作成したグラフを選択する
2. グラフツールの[グラフのデザイン]タブをクリックする  
※バージョンによってタブの名称は異なります
3. 「グラフ要素を追加」をクリックして「データラベル」を選択する
4. データラベルを表示する位置を選択する。



表示する内容や表示形式など細かな設定をする場合は、[その他のデータラベルオプション]を選択して設定をします。

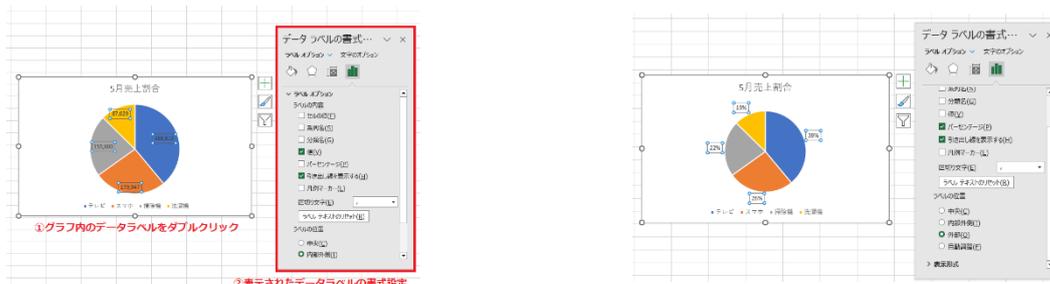
## データラベルでパーセントを表示

円グラフは項目ごとの割合をわかりやすく表示させるためのグラフです。そのため、データラベルをパーセントページで表示したほうが見やすく、かつ理解しやすくなります。データラベルでパーセンテージを表示させる手順は以下のとおりです。

※ P 4 参照

グラフにデータラベルが表示されていない場合は、表示しておきます。

1. グラフ内のデータラベルをダブルクリックする
2. 「データラベルの書式設定」を表示する
3. 「ラベルの内容」の「値」に入っているチェックを外す
4. 「パーセンテージ」にチェックを入れる
5. 「ラベルの位置」の「外部」を選択して、閉じるをクリックする

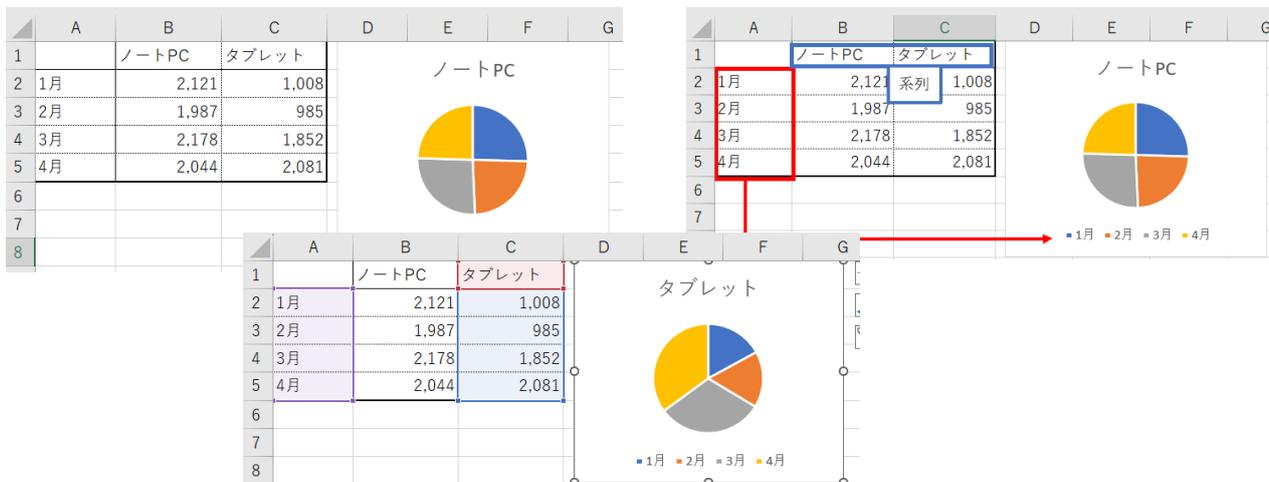


### 系列が複数存在する場合の対応

以上の手順を行うことで、円グラフのうゑに各項目のパーセンテージが表示されるため、比較がしやすくなります。

次のように複数の系列が存在する表を選択して、グラフを作ると凡例（今回は月名）に近いデータ系列がグラフ化されます。表の行と列を比較して数が少ない（今回は列は2，行は4）データが系列に、数が多いデータが凡例に配置されます。

**円グラフでは、複数の系列を選択していたとしても、1つの系列しか表示することができません。** タブレットの値を比較した円グラフを作りたい場合は、A1 から A5 と C1 から C5 のように事前に必要なデータだけを選択してグラフを作るか、作成後にカラーリファレンス（グラフを選択したときに元データに表示される枠）を調整して範囲を変更します。

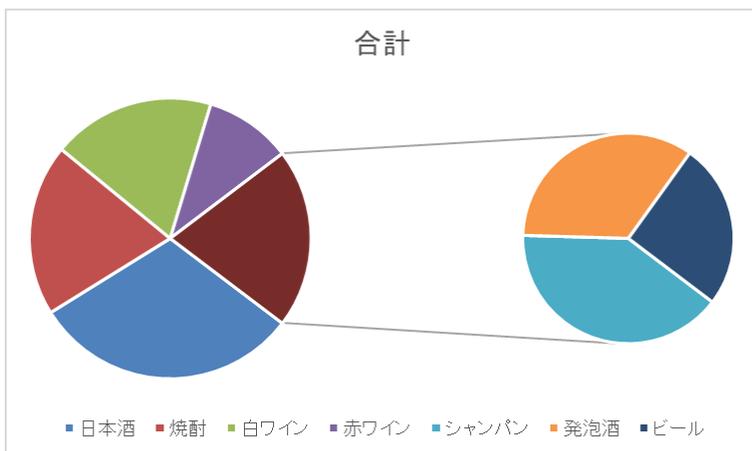
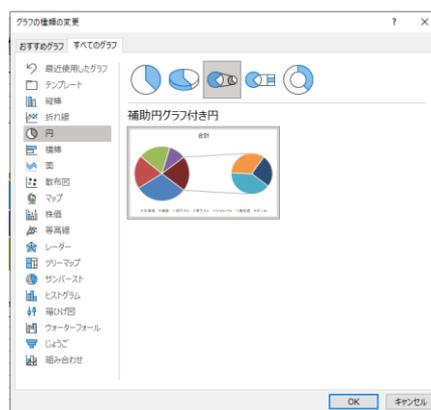
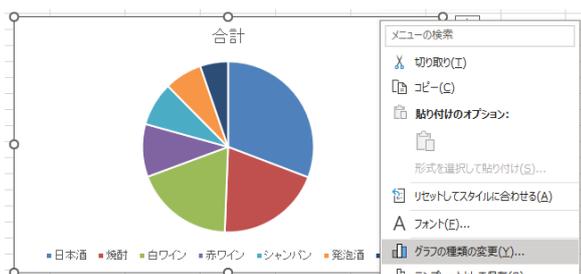


複数の系列を1つの円グラフにしたい場合は、ドーナツグラフを利用します

## 数値の小さい項目の見せ方

基本的に円グラフを作成する際には、データを降順に並べ替えたほうがわかりやすくなります。しかし、数値が小さい項目が多くある場合円グラフの最後に項目が固まってしまう、見えにくくなるケースもあるでしょう。その場合には、補助円グラフ付き円グラフに変更する方法がおすすめです。補助円グラフ付き円グラフへの変更方法は以下のとおりです。

1. グラフを選択して右クリックする
2. 「グラフの種類の変更」を選択する
3. 「円」から「補助円グラフ付き円グラフ」を選択して OK をクリックする



補助円グラフの項目数を変更することも可能です。補助円グラフの項目数を変更したい場合は、補助円グラフを右クリックしてメニューを表示し、項目数を変更しましょう。

※ P5 参照